

平成29年度 水道事業会計予算

～みなさまからいただく水道料金はこのように使われます～

平成29年度は、新たに策定した「新・いわき市水道事業経営プラン」のスタートの年となります。このプランに基づく各種事業を着実に実施するため、次のとおり予算を計上しました。

平成29年度の予算の大きな特徴は、資本的支出が増加していることですが、これは新・経営プランで「老朽管更新事業」を最重要事業として位置付けたことによるものです。

水道管をはじめとする水道施設の更新については、平成29年度に限らず、今後も長期にわたり取り組んでいきます。

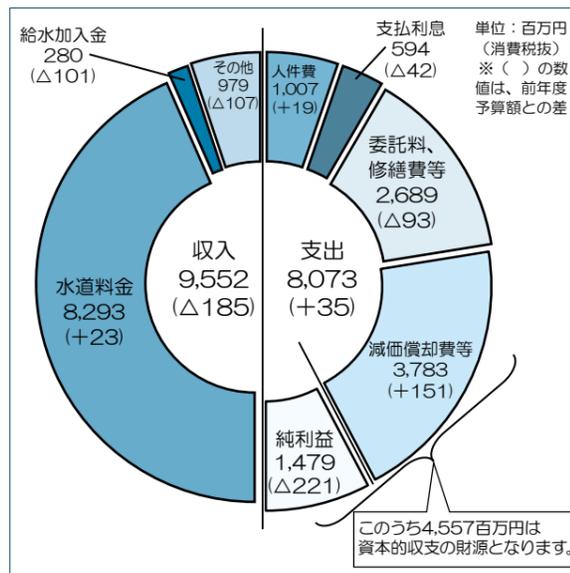
水道事業の予算は、水道水をつくりお届けするための経費等を表した「収益的収支」と、水道施設を整備するための経費等を表した「資本的収支」の二本立てになっています。それぞれの内容は次のとおりです。

収益的収支

収入では、総額約95億5,200万円を見込んでおり、前年度予算と比較すると約1億8,500万円の減となります。これは、主に新築住宅の建築件数の減少に伴う給水加入金の減少によるものです。

一方、支出では、総額約80億7,300万円を見込んでおり、前年度と比較すると、約3,500万円の増となります。これは、委託料、修繕費等の維持管理にかかる経費が減少するものの、減価償却費等※の経費の増加によるものです。

以上により、収入から支出を差し引いた純利益は、前年度と比較すると約2億2,100万円減の約14億7,900万円となり、水道施設を整備するための財源となります。

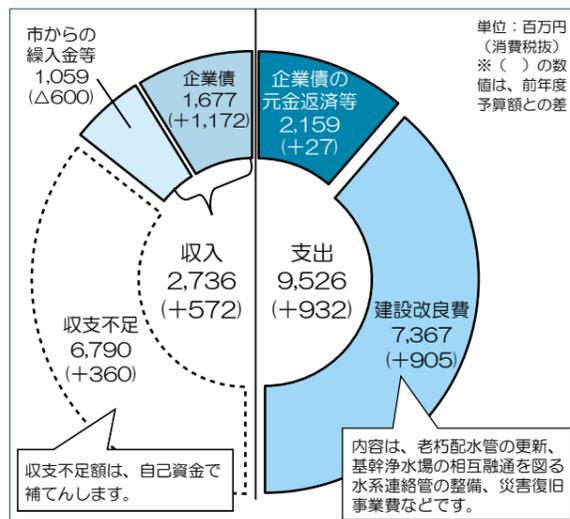


資本的収支

支出では、総額約95億2,600万円を見込んでおり、前年度予算と比較すると約9億3,200万円の増となります。これは、「老朽管更新事業」を優先的に進めることとしたためです。

建設改良費は、老朽管更新事業のほか、基幹浄水場の連絡管整備事業や、災害復旧のための費用などで約73億6,700万円となります。また、施設整備のために過去に借り入れた企業債の元金返済額などは、約21億5,900万円となっています。

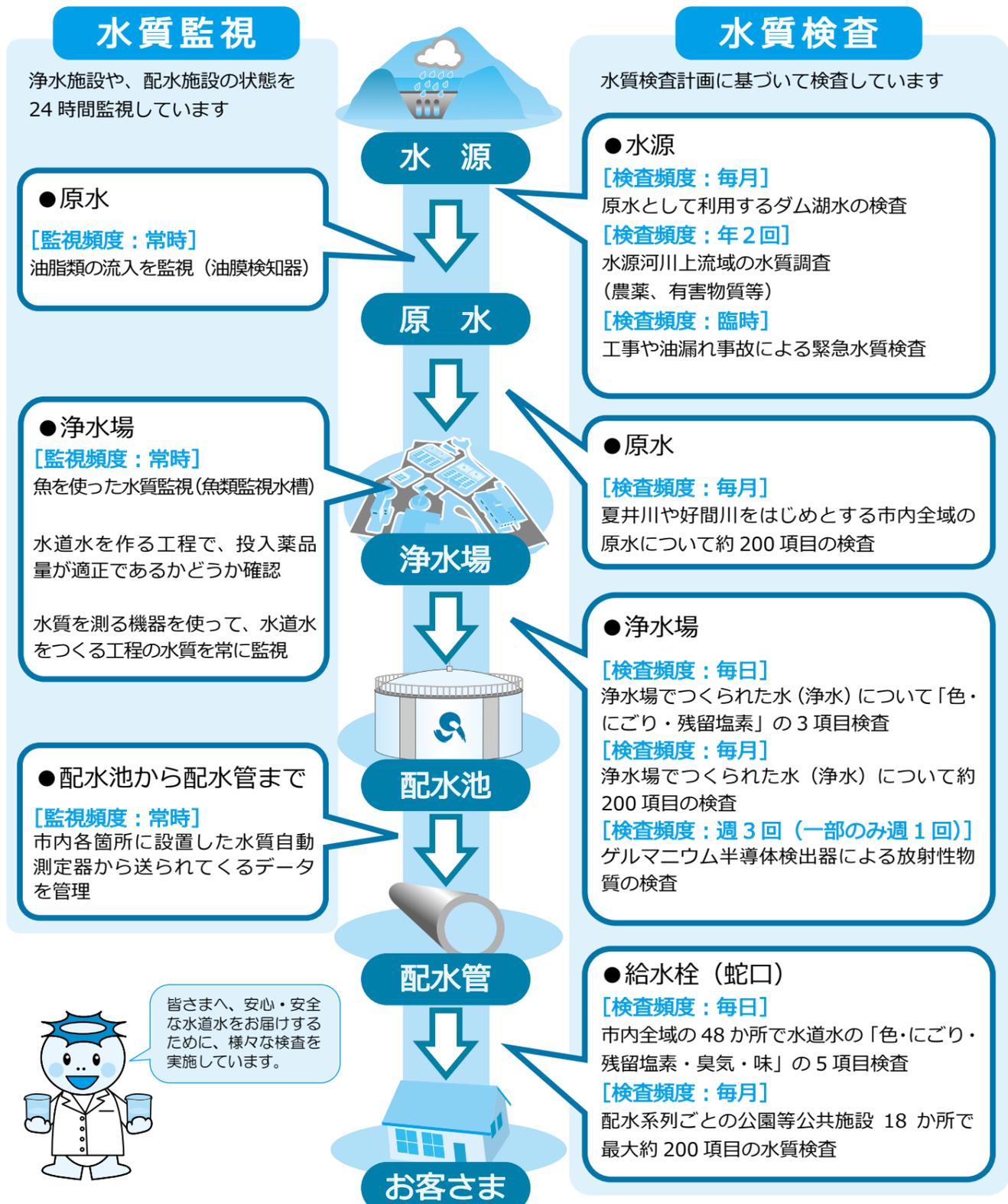
これらの財源として、自己資金(前年度からの繰越金、上記の収益的収支で確保した減価償却費相当分の資金等)約67億9,000万円で補てんするほか、借入金である企業債、市の一般会計からの繰入金などで、総額約27億3,600万円を見込んでいます。



お問い合わせ 経営企画課 財政係 TEL 22-9313

安全・安心の水道水をお届けするために

いわき市水道局は、すべてのお客さまが、いつでもどこでも、安心しておいしく飲める水道水を供給しています。毎年「水質検査計画」を策定し、約200項目にわたる水質検査を行い、水道水の安全を確認しています。また、平成26年度に策定した「水安全計画」に基づき、水源から蛇口までの総合的な水質管理に努めています。



お問い合わせ 浄水課

TEL 22-9320